

新開発教材におけるタスク作成（1）

— 初級前期を中心に —

阿久津 智 酒井たか子

要 旨

筑波大学留学生センターで作成した初級用日本語教科書は、伝達能力と文法能力とのバランスのとれた日本語力の養成を目指している。この教科書には、伝達（会話）能力と文法能力の両側面からのシラバスが採用され、会話項目と文法項目についてそれぞれ独立した説明および練習があり、その後にタスク型練習が組み込まれている。タスク型練習には、その課の学習項目を使い、現実の場面への橋渡しとなるような練習を取り入れている。本稿では、新教材の前半を中心に、まず、タスクの位置づけ、作成過程、作成上の方針などについて述べる。続いて実際に作成したタスクを分類し、内容を紹介する。最後に、試用した結果現れた問題点を挙げ、今後の課題について触れたい。

【キーワード】 タスク 伝達能力 文法能力 コミュニカティブ・アプローチ

1. はじめに

日本語教育の現場では、最近「タスク」を通して日本語を学習させる教材が目につくようになってきた。「タスク」とは、設定された課題のことである。ある課題を解決、達成することによって、言語習得を目指しているのがタスク型練習である。これは、コミュニケーション・アプローチにおける練習形式の中心とも言えるものである。

岡崎（1990）は、タスクの見方として次の3つを挙げている¹⁾。

1. 教育的配慮に中心をおいたタスクの見方
2. 言語学習を作り出すことに中心をおいたタスクの見方
3. 実生活に中心をおいたタスクの見方

1は、教師が設定した目的のために学習者が行う作業や行為をタスクとしてとらえたものである。つまり、ある学習項目を習得させるために学習者に何かをさせることをタスクとしたものである。2は、言語学習の「学習」の側面に焦点をあて、タスクを、その「学習」を作り出すことを目指した一連の作業計画としてとらえたものである。新教材のタスクは1により作られたものが大半を占めているが、後半には2のものも入っている。

さて、筑波大学留学生センターでは、2年余りをかけてコミュニケーションを重視した初級向け

新教科書の試作、試行、改訂を行い、1991年12月に『Situational Functional Japanese』（略して『SFJ』）第1巻を完成させた。『SFJ』は全3巻で各巻8課全24課からなっている。本稿では、その中の第1巻と第2巻を対象として、まず、「タスク」の位置づけ、作成方針などについて報告する。続いて、個々のタスクを紹介しながら初級段階におけるタスクのあり方を考えたい。第3巻については、清水・山本（1992）が小規模なタスクについて、新谷・藤巻（1992）がトータルタスクについて取り上げているので、合わせて参照されたい。ただし、この2つの論文では、本稿と異なり『SFJ』の前段階の試作版である『New Situational Functional Japanese』（略して『NSF』）の「タスク」を対象としている。なお、本稿は、1から5、および8を酒井が、6および7を阿久津が主に担当した。

2. 『SFJ』の概要

『SFJ』の中で、タスクの置かれた位置づけを明らかにするために、『SFJ』全体の概要に簡単に触れておく。詳細については、これまでに発表されているものを参照されたい²⁾。

1. 使用対象

大学生レベルで、日本語能力が初級レベルの学習者。

2. 到達目標

- a. 日本で留学・研究生生活を送るのに必要な、日本語による基礎的な伝達能力を身につけることを基本におく。
- b. 大学での授業・研究に必要な日本語の基礎を作ることを目標とする。

3. 構成

『SFJ』の各課の構成は以下の通りである。（（ ）内は本稿での呼び方）

NOTES

Model Conversation	(モデル会話)
Report	(レポート文)
New Words and Expressions	
Grammar Notes	(文法ノート)
Conversation Notes	(会話ノート)

DRILLS

New Words in Drills	
Structure Drills	(構造練習)
Conversation Drills	(会話練習)
Tasks and Activities	(タスク)

到達目標にも記したように、『SFJ』は、伝達能力の学習を重視しているが、同時に文法学習にも

大きな比重をおいている点の特徴と言える。従来、コミュニカティブ・アプローチで弱点とされていた点は、ある段階までいと言語発達の度合が下がったり、間違いの固定化が起こる可能性が出てくる³⁾ということであるが、『SFJ』では、このような文法形式面が弱く、次の段階につながりにくいという側面に対処すべく、上のような構成をとっている。上の「3. 構成」を見ていただくとわかるように、「モデル会話」「会話ノート」「会話練習」は伝達能力学習を、「レポート文」「文法ノート」「構造練習」は文法学習を中心に構成されている。

3. 『SFJ』における「タスク」の位置づけ

上述したように、『SFJ』は、会話と文法の2本の柱を持ち、その2方向からの知識を与え、それぞれをドリルで練習するという形式をとっている。各課の最後に置かれた「タスク」の果たす役割としては、次のことが挙げられる。

1. 「構造練習」で学んだ知識を発展させ、その理解をもとに、実際の場での生成ができるような運用能力を養成する。
2. 「会話練習」で学習したストラテジーを、他の場面に広げて使えるようにする。
3. 上の1、2を土台に、既習の項目を統合させて総合的な力を養成する。

このように、「構造練習」「会話練習」の中で学んだ知識を、実際の場面で使えるようにするための橋渡しを行うのが「タスク」の役割である。以上を簡単に図示すると以下ようになる。(図1)

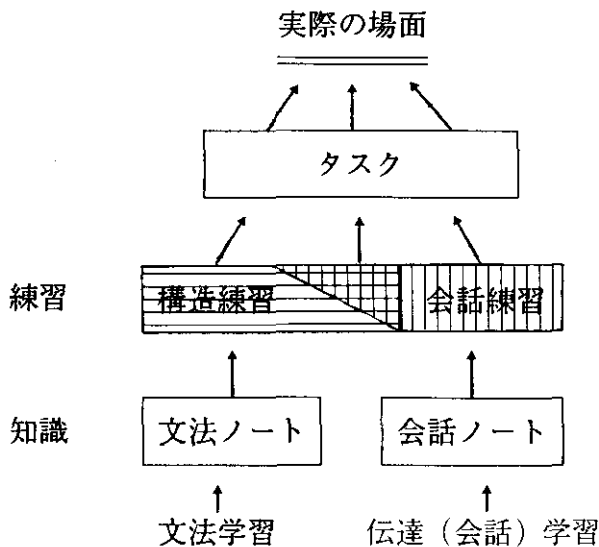


図1 『SFJ』の基本的構成

また、本教材では、読み書きに関して、「レポート文」で書き言葉を提示しているが、それ以外のより実際的な読み練習と書き練習に関しては「タスク」で扱うことになっており、その面でも「タスク」の負っている役割は大きい。

4. タスク作成過程

【SFJ】の作成は、文法班、会話班、タスク班、語彙班に分かれて行われた。タスク班は、文法班および会話班から出てくる各課の学習項目について、学生にどのような課題を与えるのがよいかの検討を繰り返し行った⁴⁾。タスク作成までの流れは以下のようであった。

各課の会話項目・文法項目が出される。

↓

中心として取り上げる項目を選択する。

↓

どのようなトピックで扱うのがよいか検討する。

↓↑

4技能のうちのどれを中心にするか検討する。

↓

資料を集める。

↓

タスクの作成、試行、検討、改訂を行う。

↓

教師用マニュアルを作成し、ねらい、やり方などを示す。

教材作成過程において、自習可能なタスクを中心に作るという方針が出されたため、「タスク」には、テープを使った聞きタスクや、読みタスクが多くなっている。このようなタスクは特に前半部分に多い。練習相手の必要なインフォメーション・ギャップを使ったものやクラスゲームも取り入れたが、これらは「構造練習」や「会話練習」を補うもの、またはいくつかの技能を組み合わせた総合的なタスクとして作成されたものが多い。

5. 作成の方針および留意点

5.1 なぜタスクか

ここでタスクという形式を取ることを考えてみよう。前述したように【SFJ】の学習目的は、必要なコミュニケーションができるようになることである。そのためには、次の2点が重要である。

1. 練習の目的は、言語使用能力の習得を主とし、言語についての知識の獲得はそれを支えているものであると考える。
2. 学習者を主体にし、能動的に課題に取り組むという姿勢で学習をさせるようにする。

以上の2点を具体的に行うには、課題を解決、達成するタスクという形式が最も適したものであろう。また、言語能力の1つである問題解決能力を養成するためにも、タスク型練習は有効であろう。

5.2 作成の方針

話題を決める際に考慮した点は、次の3つである。

第1点としては、学習者の必要性である。学習者が日本語を使って実際に行いたいことは何か、遭遇するであろう場面は何かということ考えた。もちろん、「モデル会話」もそのような観点から作成されているが、24課24場面と限られている。「タスク」では、それを補う方向で必要な場面および機能を選択した。

第2点としては、日本に関する情報を積極的に与えるということである。日本について、このことは知ってほしいという意図で作ったタスクがいくつかある。

第3点としては、学習者の知的、認知的、社会的能力を生かせるものであるということである。言語的にレベルが低い場合には、その練習も「子供っぽい」内容になりがちである。しかし、この『SFJ』の対象者は大学生レベルであるので、学習者がすでに持っている能力を利用できるように心掛けた。

以下、『SFJ』第1巻と第2巻（第1課～第16課）から例をとって、いくつかの観点から、タスクを紹介してみたい。後ろに資料として、各課の「モデル会話」の場面、「文法ノート」で扱っている項目、タスクの一覧表を載せてあるので参照されたい。

6. 4 技能別作成上の留意点および内容紹介

4技能からの分類とは、いわゆる聞きタスク、話しタスク、読みタスク、書きタスクという分類である。まず、聞きタスクについて述べる。なお、タスクの問題番号は、「第1課1番a」を「L1-1a」のように表す。

6.1 聞きタスク

聞きタスクには、未習事項も適当に入れた。学習者が実生活で直面する場面では、当然未知の語彙や構文が入ってくるはずである。未習項目が入っている情報の中から、どのようにして必要な情報をとるか、というストラテジーを学ぶことは重要である。水田・岡田（1989）は、話されていることをすべて聞かなければ先へ進めなくなる学生を教えた経験から、課題の与え方を変えることに

よって実際の聞き取り行動に近づけた例を示しているが、『SFJ』の聞きタスクでも、実際の聞き取り行動になるべく近いタスクを与えるように心掛けた。

テープの録音は、できる限り自然な会話を聞かせたいということで、初めの第1課から自然なスピード、明瞭さで行った。

また、社会的状況による話し方の違いを理解させることも、かなり初期から行うようにした。1つのタスクにいくつかの小問を設け、場面による話し方の違いを聞かせようとしたものもある。

答え方については、特に初期段階においては、聞くことに集中させるために文字の負担が軽くなるようにした。教科書には絵や図表を多く入れ、日本語の部分を少なくした。解答欄も記号や数字で答えられるものを多くした。実際のクラスでは、口頭で答えさせてもいいと考えている。しかし、中にはL5-2のように、聞き取った言葉（動詞）をメモの空欄に入れ、文を完成させるという聞きと読み書きを合わせた応用的なものや、L15-1のようにアドバイスの内容を文で書かせるといった形式のものもある。

以下、聞きタスクをいくつかの観点から分類して内容を紹介する。

表1に、本教材の聞きタスクで、具体的に学習者に何を聞き取らせているかを挙げておいたので参照していただきたい。

〈比較的単純な聞きタスク〉

第1巻(L1~L8)では、各課の1番のタスクのほとんどが、あるキーワードが聞き取ればいいといった単純な聞き取りになっている。これらは、本教材とは別にその副教材として開発中である「毎日の聞き取り」の内容に近いものである。「毎日の聞き取り」とは、「5~10分の耳の訓練といえるもので、基礎的な聴解力の積み上げをねらっている。いわゆるタスク型のものとは異なり、短いまとまりのものを細かいところに注意を払って聞かせる練習である。」(小林・フォード(1991))とされているが、このような耳の訓練というべきものは、タスク型練習としては単純すぎて、適当ではないかもしれない。しかし、本教材には「毎日の聞き取り」のような練習はないので、このタイプのものも「タスク」の中を含めた。このような単純な聞き取りのものは、各課の最初に置いた。これには、「タスク」の授業の最初に耳慣らしをさせるという意味もあるが(もっともタスクをこの順番どおりにやる必要はないが)、コミュニケーションにとって必要な基本的な語彙を確認する意味もある。例として、L8-1を資料1に挙げた。これは、「~でもいい」の形を聞いて、適当な絵と許可か不許可かを選ぶ問題である。

数字や曜日、日時といった、聞いてすぐに反応すべき語彙の定着を図るためのタスクも多く入れた。最初の方の課から例を挙げると、L2-3、L3-1b、L3-4、L4-1、L5-4、L7-1~3、L10-1などが数字や曜日、日時を聞かせるものである。このうち、L5-4、L7-3は、電話での会話を聞いて、スケジュール表に予定を書き込ませると同じ形式のものである。

表1 聞きタスク：学習者に何を聞き取らせているか

問題番号	聞き取らせている内容
L 1	1 a 自己紹介の語彙（名前、国、大学、専門） b 自己紹介の語彙（名前、国、大学、専門）（上の応用） 3 自己紹介の語彙（名前、国、仕事、大学）
L 2	1 a あいさつ言葉 b 行き先（建物・施設など） c スピーチレベル（関係が同等か否か） 2 あいさつ言葉、行き先、スピーチレベル（上の応用） 3 切手、はがき等の枚数と金額
L 3	1 a メニューの語彙 b 値段 2 メニューの語彙等（店の種類を答える） 3 サンドイッチの種類と個数
L 4	1 位置の語彙、数字 2 a 部屋の中での位置 b 大学の建物の中での位置
L 5	1 動詞「～てください」の形 2 動詞「～てください」の形（応用） 4 曜日と予定
L 6	1 形容詞 2 物の形容語彙（形容詞等）
L 7	1 a 建設・施設名 b 曜日と月日 2 時間と行動内容 3 日時と予定
L 8	1 動詞「～でもいい」の形、許可か不許可か
L 9	1 病院の科名 3 a 顔の形容語彙（形容詞等） b 顔の形容（上の応用）
L 10	1 a 服装の語彙、値段、色、サイズ b 肉類の語彙、100グラム当たりの値段、量、値段 c 野菜の語彙、1山当たりの値段、量、値段 2 尊敬語の動詞
L 11	1 本の有無、冊数、日数 2 行動内容（自動詞、他動詞）
L 12	1 地図上の位置 2 交通手段 3 a アパートの内容（家賃、広さ、交通手段など）
L 13	1 授受の結果の数 2 a ワープロ、外国語使用能力、趣味、健康状態
L 14	1 忘れたもの（ものの形容） 2 行動内容等（動作のやりもらい）
L 15	1 アドバイスの内容 2 a テレビ番組を見る頻度（副詞）
L 16	1 a 地図上の位置、距離、階数 b 地図上の位置、距離、階数（上の応用） 3 a 年齢、職業、年収、趣味 b 人の長所と短所

〈応用的な聞きタスク〉

第1巻でも2番以降のタスクには、複数のキーワードを聞き取らせるものが多いが、いくつかのキーになる言葉を聞き取り、それらを総合して判断させるような多少応用的なものもある。例えば、L3-2は、店員の言葉遣いや客の注文した品などから、どんな店かを判断させるものである。また、L12-3aは、アパート紹介の広告を見ながら、会話を聞き、アパートを選ばせるというものである。L13-2（→資料2）は、与えられた個人情報（聞き）と会社の採用条件（読み）から、採用すべき人を選ばせるというもので、ともに聞きと読みの総合的なタスクである。

〈モデル会話場面との関連ある聞きタスク〉

各課のタスクを、モデル会話との関係から見てみる。L1-1、L1-3、L2-1～3、L3-1、L7-1、L9-1、L10-1a、L11-1、L12-1、L14-1、L16-1は、モデル会話と場面がある程度共通するものである。L1、L2の聞きタスクは、既習項目の制約から、すべてモデル会話と同じ場面のものにしてある。例として、L3-1aを資料3に挙げておく。

また、モデル会話の場面を発展させたものに、L3-2、L3-4、L4-2、L12-2、L15-1などがある。

〈文法項目を応用した聞きタスク〉

その課の学習文法項目を応用した聞きタスクも多い。

例えば、L6-2、L9-2は、形容詞を使って物や人を描写し、それが何か、どの人物かを当てさせるゲーム的なものである。

L11-2（→資料4）は、泥棒コンビの会話であるが、彼らが何をして、何をしなかったか、自動詞と他動詞を中心に聞くタスクである。

L14-2は、火事についてアナウンサーやインタビューを受けた人が話しているというもので、動作の「やりもらい」を聞かせるタスクである。

ただし、これらは必ずしも文法項目だけで聞くタスクにはなっていない。L6-2、L9-2は、形容詞語彙を定着させるためのタスクといった方がいいかもしれない。また、L11-2、L14-2は、実際には、そこでの文法項目が正確に聞けなくても、ある程度の語彙力があれば前後の文脈から内容が把握でき、答えは出せるものである。その文法項目を正確に聞き取らなければ、内容が全く把握できないというのは、現実的ではないし、会話もかなり不自然になると考え、ここではあえてそのような会話は作らなかった。

〈ゲーム的要素を持つ聞きタスク〉

聞きタスクには、推理ゲーム的な内容のものも、学習者の興味をひくためにいくつか入れた。さきに挙げたL6-2、L9-2もそうであるが、他にL7-2（→資料5）の警官が被疑者にアリ

パイを聞く会話もその1つである。これらの内容は、学習者の日本語力を考え、かなり単純なものにしてあるが、けっこう学習者の興味をひくことができるようである。

6.2 読みタスク

コミュニカティブ・アプローチの教科書は、聞くこと、話すことが中心となるため、読み書きの比重はどうしても軽くなる。【SFJ】にもその傾向が見られる。しかし、本教材の対象は大学生レベルであり、専門の本を読んだり、レポートを書いたりすることがすぐに求められる場合もあるので、初級の段階でも読み書きの基礎を作る必要がある。そこで【SFJ】は「タスク」に読み練習や書き練習をなるべく多く入れるようにした。

読みタスクには、その課の文法項目を応用したものがかなり多い。実用的なものは別として、他はすべて、その課で学習する文法項目を定着させるために作ったものである。そのため、読みタスクは、話題や内容がなるべく学習者の興味を持てるものになるように心掛けて作成した。

特に最初の方の課では、日本語の文字・表記の複雑さから、実際のなものを初めから読ませるのはまず無理である。そこで、単文レベルのものや、その課の「レポート文」とあまり変わらない文章を読ませるようにした。その際、なるべくクイズ的、ゲーム的な要素を取り入れ、楽しめるようにした。

また、未習の語彙や構文はなるべく入れないようにしたが、避けられない場合もある。その場合には英訳を与え、学習者の負担を軽くするようにした。

〈ゲーム的要素を取り入れた読みタスク〉

ゲーム的要素を取り入れた読みタスクを次に紹介する。

L3-4 (→資料6)、L4-3、L4-4a、L8-4aは、絵を見ながら文章を読んで、だれがどこにいるか(いたか)を当てさせるクイズ的なものである。

また、L12-4は、「なんでもロボット」というロボットが持っている機能を選ばせるといった読みもの、L16-4は、日本独特の道具の絵を見て何に使うかを選ばせるといったもので、学習者が興味を持って読めるようにした。

他に、L5-5のクロスワードパズル、L7-4のYES/NO選択式の旅行アドバイス、L8-5、L10-3、L14-3の「○○度チェック」なども、クイズ的、ゲーム的な要素の強いものである。

〈実用的な読みタスク〉

L6-4b、L8-3、L14-5bでは手紙文を取り上げたが、学習者にとって、手紙は多少実用的なものであろう。ただし、その文章は、既習の項目の制約やその課の文法項目を多く入れる必要から、必ずしも自然なものとはなっていない。

他に実用的なものとしては、L7-5のテレビ番組表、L9-2 (→資料7)の薬の服用法、聞

きタスクのところでも挙げた L12-3a のアパート紹介の広告、L16-6a の列車・バス時刻表などがある。

〈長めの読みタスク〉

その他、ある程度の長さを持った内容のある読みものがある。L10-5a の物価の比較は、統計を使った読みものである。統計の利用は、多少知的好奇心を満たすことができるが、年々古くなるという欠点がある。

L11-3a の雪女 (→資料 8)、L13-3 の現代版わらしべ長者は、ストーリー性を持った読みものである。

また、L12-5a の「ぼくのお父さん」は、子供の作文という形式をとっているが、日本人のサラリーマンの生活、父子関係といった話題を提供するものになっている。

6.3 話しタスク

話すことに関しては、「会話練習」にロールプレイを入れ、それができるようになることを達成目標の一つとしているので、「タスク」にはロールプレイは入れていない。話しタスクは、そのほとんどが話題や情報だけを与えて話をさせるものである。その際、「会話練習」で学習した項目を使えるような場面を与えている。また、他の技能もともに使うような発展させた内容のものもいくつか取り入れている。

〈聞きタスクなどから発展させた話しタスク〉

話しタスクには、聞きタスクや読みタスクで扱った話題について、個人またはクラス全員で話をさせるものが多い。

例えば、L4-5b の自分の国の変化、L11-3c の自分の国の怪談、L12-3b の借りたいアパート、L15-2c の日本のテレビ番組、L16-3c の見合い結婚と恋愛結婚などがそうである。これらはすべて、聞きタスク (L12-3a、L15-2a、L16-3ab) や読みタスク (L11-3a)、書きタスク (L4-5a) で扱った話題である。

このうち、L15-2 では、話合いの前に、よく見るテレビ番組についてクラスでインタビューをさせるタスク (L15-2b) も入れている。

また、L6-2b の物当てゲームでは、クラスで 1 人がある物について形容し、他の者が当てるといものであるが、これも聞きタスクで聞かせたの (L6-2a) と同じことをクラスでさせるものである。

〈インフォメーション・ギャップを利用した話しタスク〉

クラスで学習者にペアを作らせ、それぞれに別の情報を与えて (または与えず) 話をさせる、い

わゆるインフォメーション・ギャップを与えるタイプのものも多く入れた。

これには、L5-3の表示の読みと意味（一方がその表示の読み方と意味を知っている）、L7-6bの映画の上映時間の問い合わせ（一方がシネマガイドを持っている）、L8-2の間違ひさがし（それぞれが異なった絵を持っている→資料9）、L13-5の誕生日に何を贈るかについての相談（それぞれが誕生日を迎える人について異なった情報を持っている）、L14-4の漢字ゲーム（1人だけその漢字の意味や読みを知っている）などがある。

6.4 書きタスク

書きタスクは、伝言、申し込み用紙記入などの実際的なコミュニケーション場面でのもの、語彙や文法確認のためのもの、ノートテキングなどに分けられる。『SFJ』の「タスク」では、書くことも第1課から取り入れている。これは言語の正確さを伸ばす上では、書かせることも有力な手段だろうと考えたからである。しかし、ある程度まとまった内容のものを書くのは、初級中期以降でないと無理である。『SFJ』の前半では、語彙も文型も非常に限られているため、書きタスクも単純なものになっている。

書きタスクは、読みタスクと同様に、初めの方の課では、単文レベルのものや、その課の「レポート文」とあまり変わらない文章を書かせるものを多くした。

例えば、L1-5、L2-4、L3-5は、それぞれの課の「レポート文」とあまり変わらないものである。これらはすべて、まず与えられた情報を使って空欄を埋めるという練習を行い、その後自分のことについて書くといった形式のものである。

L6-3、L10-4（→資料10）、L11-4、L13-4は、穴埋め式で、それぞれ自由な文、置き手紙、お知らせ、キャッチコピーを作らせるものである。これらには模範となる文章が付けてある。

L6-4b、L14-5bの手紙書きは、ともに読みタスクの手紙を手本にして、それと似たような文章を書かせるものである。

L4-5aの20年前と今、L10-5bの物価の比較、L16-6の夏休みの計画は、絵や図表などを見て作文を書かせるものであるが、これにも参考にモデル文が付けてある。

その他、特にモデル文は与えていないが、聞きタスクや読みタスクで扱った話題について書かせるものに、L15-5bの自分の国で生活する際の注意などがある。

実用的な書きタスクとして、L9-4の申し込み書類を書かせるものがある。

また、少し変わったものとして、L15-4の漫画のふきだしに言葉を入れさせるものがあるが、これは、適当な言葉を選択し、形を変えて入れるもので、タスクというよりも構造練習に近いものである。

6.5 いくつかの技能を組み合わせたもの

タスクには、4技能の中の1つの技能だけを使うもの、ある1つの技能から他の技能へつなげる

もの、いくつかの技能をともに使うものがある。

ある1つの技能から他の技能へつなげるものには、さきに挙げたように、話しタスクにつなげるものと書きタスクにつなげるものが多い。これらは、主に聞きタスクや読みタスクで扱った話題について、話させたり書かせたりするものである。

いくつかの技能をともに使うものには、これもさきに挙げたが、聞いて書き取るもの(L5-2、L15-1)、聞いて得た情報と読んで得た情報を合わせて答えるもの(L12-3a、L13-2)などがある。また、クラスで話し合いや会話をさせるタスクは、話しタスクとしてさきに紹介したが、これらはもちろん、話す技能だけでなく聞く技能も使うものである。

〈クラスゲーム〉

その他、「タスク」では、クラスでできるゲームも紹介した。さきに挙げたL14-4の漢字ゲームのほかに、L5-6のすごろく、L11-5、L11-6のカードゲームなどがある。

L5-6のすごろくは、ある位置に来た者にこの課の学習項目(動詞等)を使って指示を与えるものである。

L11-5は、めくったカードの指示(「～たら出す。」または「～たら取る。」)に従い、コマを出したり取ったりして、早く手持ちのコマがなくなった者が勝ちというものである。

L11-6は、ババヌキの要領でカードを抜き取り、名詞(「～が」または「～を」と動詞(自動詞か他動詞)のペアができたならカードを出し、早く手持ちのカードがなくなった者が勝ちというものである。

L5-6、L11-5、L11-6、L14-4のゲームは、本教材ではそのやり方は紹介したが、実際のゲームで使うカードや指示文は与えていない。指示文は教師用マニュアルに載せた。

もちろんこれらのゲームは、必ずしもゲームを紹介した課で扱わなければならないものではない。別の課で別の学習項目を使い、同様のゲームをやることはいくらかでも可能である。

7. 学習項目および話題・内容からの分類

次に学習項目との関連から、タスクのタイプを見てみたい。

本教材は、文法能力と伝達(会話)能力とのバランスのとれた日本語力養成を目的とするものであるが、その折衷的性格から、「構造練習」と「会話練習」との間に多くのズレが見られる。1つの課においてねらいとするところが、文法と会話とでずれていることが多いのである。例えば、「構造練習」で練習した文法項目が、同じ課の「会話練習」の中にほとんど出てこないというようなこともある(市川(1990)、渡辺他(1990)などを参照)。これは、本教材が、その名のとおり場面や機能を中心とした伝達能力の養成を目標とするものであり、従来の文法積み上げ式の教材のように、文法学習が中心で会話はある文法項目を学習するためにあるといったタイプのものではないからである。

このような教材において、「タスク」は、その課の文法と会話とを統合するものとして最終的な達成目標であると位置づけられている。しかし、実際には「構造練習」や「会話練習」を補うものといった色彩が強く、非常に雑多な内容になっている。同じ学習項目を扱うにしても、「構造練習」や「会話練習」では形式がかなり定型化しているのに対し、「タスク」にはさまざまな形式のものが含まれている。「構造練習」や「会話練習」に入れることができないタイプの練習が、すべて「タスク」に来たのである。

次に、文法項目と会話項目に分けて、どのようなタイプのタスクがあるか見ていこう（個々のタスクの内容についてはさきに触れているので、以下では触れない）。

7.1 文法項目を学習させるもの

文法項目を学習させるためのタスクは、各技能別に一覧表（表2～表5）にして示した。

聞きタスクには、「モデル会話」や「会話練習」のものとは違う、従来の文法積み上げ式の教材のようなある文法項目を学習させるための会話が、いくつも取り入れられている。

この中には、ある語が聞ければいいといったかなり単純なものもあるが、聞いて得た情報をもとに何かをするといった多少応用的なものもある。具体例については、さきに挙げたのでここでは挙げない。繰り返しになるが、応用的なタスクには、その文法項目を正確に聞き取らなければ内容が全く把握できない、というようなものはなるべく入れなかった。そのようなことは現実的ではなく、不自然であると考えたからである。

読みタスクや書きタスクは、その多くがその課の文法項目を学習させるものになっている。

話しタスクの中の文法項目を学習させるものには、使うべき文型の例を提示している。

表2 文法項目を学習させる聞きタスク

問題番号	内容	文法項目
L 5 1	指示聞き	～てください
2	メモ取り	～てください
L 6 1	物の形容	形容詞
2 a	物当て	形容詞
L 8 1	許可願い	～でもいい
L 9 3	人相当	形容詞
L 10 2	尊敬表現	尊敬語の動詞
L 11 2	ドジなどろぼう	自動詞と他動詞
L 13 1	物の授受	やりもらい
L 14 2	火事のニュース	動作のやりもらい
L 15 2 a	日本のテレビ番組	頻度の副詞

表3 文法項目を学習させる読みタスク

問題番号	内容	文法項目
L 4 3	席当てクイズ	存在文
4 a	建物当てクイズ	存在文
L 6 4 a	海へ行った報告の手紙	～て～(継続)
L 7 4	YES/NO 選択式の旅行アドバイス	～たい
5	テレビ番組表	～たい、(時)から
L 8 3	マレーシアからの手紙	～ている
4 a	人当てクイズ	ナイ形
5	あなたの日本経験度	～ていない
L 10 3	日本知識度	比較
5 a	物価の比較	比較
L 11 3 a	雪女	自動詞・他動詞
5	カードゲーム	～たら～
6	カードゲーム	自動詞・他動詞
L 12 4	なんでもロボット	～と～(条件)
5	ぼくのお父さん	～てから、～た後で
L 13 3	現代版わらしべ長者	やりもらい(物)
L 14 3	あなたの外国生活適応度	可能形
5 a	ホテル紹介の手紙	可能形
L 15 3	旅行の安全アドバイス	～ておく、～てみる
5 a	地震のときの注意	～ておく
L 16 4	日本の道具の使い方当てクイズ	連体修飾、形式名詞

表4 文法項目を学習させる書きタスク

問題番号	内容	文法項目
L 4 5 a	20年前と今	存在文
L 6 3	名詞、動詞、形容詞を使った文作り	助詞、形容詞
4 b	スキーに行った報告の手紙	～て～(継続)
L 10 4	置き手紙	尊敬語
5 b	物価の比較	比較
L 11 4	〇〇のお知らせ	～たら～
L 13 4	旅行社のキャッチコピー	連体修飾
L 14 5 b	ホテル紹介の手紙	可能形
L 15 4	漫画のふきだしに言葉を入れる	命令形
L 16 5	夏休みの計画	意向形、～たり～たり

表5 文法項目を学習させる話しタスク

問題番号	内容	文法項目
L 4 5 b	自分の国の変化	存在文
L 6 2 b	物当て	形容詞
L 8 2	間違いさがし	～ている
L 13 5	誕生日のプレゼント	好きだ、上手だ
L 15 2 b	日本のテレビ番組	頻度の副詞

7.2 会話項目を学習させるもの

会話項目を学習させるものといっても、タスクには、主として聞きタスクによる理解中心のものが多く、実際に会話をさせるものは少ない。

話しタスクに、その課の会話項目を使って会話をさせるものがあるが、その数は多くない。例えば、L5-3の表示の読み（言葉について尋ねる）、L7-6bの映画の上映時間の問い合わせ（営業時間を尋ねる）、L14-4の漢字ゲーム（どんなものか説明する）などがある。

聞きタスクには、さきに挙げたように、各課の1番の問題をはじめとして、「モデル会話」と場面がある程度共通するものが多いが、特に最初の方の課では、既習項目が少なく場面や話題が広げにくいために、各課のすべての聞きタスクに「モデル会話」に近いものが増えている。例えば、L1-1、L1-3の自己紹介、L2-1、L2-2の路上でのあいさつ、L2-3の郵便局での買物、L3-1～3の食べ物の注文、L4-1、L4-2の場所を聞くなどである。他の課では、「モデル会話」と場面が近いもの以外は、主に文法項目を聞かせるタスクが多くなっている。しかし、中には少数だが、「モデル会話」とは違った場面で、会話項目を学習させるものもある。これもさきに挙げたが、L12-2の電話で交通手段を聞く（道を聞く）、L15-1の仏教についての調べ方を聞く（助言を求める）などである。

読みタスクや書きタスクは、最初の方の課以外の少数の実用的なものを除いて、ほとんどが文法タスクである。会話項目を学習させるタスクというのは、作りにくいものである。

7.3 話題や内容からの分類

タスクでは、1つの課における個々の問題が、相互にほとんど関連のないような場合も多い。第1課、第3課などは、自己紹介、レストランなどと話題がしぼられているが、これはまだ既習項目が少なく場面や話題が広げにくいために、そうなっているのであり、他の課では、問題によって話題や場面が異なる場合が多い。また、形式もさまざまなものが、1つの課に含まれている。多様な内容や形式のタスクがあるということには、学習者が問題に慣れにくく、何をやっているのか分からないということも起こりかねない欠点がある。しかし、多くのタイプのタスクがあるということは、担当教師にとって、実際のクラスの状況に合わせて必要なタスクを選ぶことが可能だということでもある。また、学習者も、同じような問題ばかりやっていると飽きてしまうだろう。多くのタイプのタスクがあっても、もしそれらをこなせれば、それだけいろいろな状況に対応できるようになったという到達感や自信が得られることになるであろう。

次に、タスクを、話題や内容の面から分類してみよう（重複して現れるものもある）。

7.3.1 実用的なもの

モデル会話に近いものや、モデル会話を発展させたもの以外を、次に挙げる。

L 7	5	テレビ番組（読み）
L 9	2	薬の服用法（読み）
L 12	3 a	アパート選び（聞き、読み）
L 16	6 a	列車・バス時刻表（読み）

7.3.2 日本紹介のもの

日本紹介のものには、主に日本の生活を紹介したものと、主に日本の地理や観光地を紹介したものがある。

日本の生活を紹介したもの

L 8	5	あなたの日本経験度（読み）
L 10	5 a	諸外国との物価の比較（読み）
L 15	5 a	ぼくのお父さん（読み）

このうち、L8-5を資料11に例として示した。

日本の地理や観光地などを紹介したもの

L 7	4	YES/NO 選択式の旅行アドバイス（読み）
L 10	3	日本知識度（読み）
L 12	2	成田から新宿までの交通手段（聞き）
L 13	4	春の北海道旅行のキャッチコピー（書きのモデル文）
L 16	5	夏休みの計画（小笠原旅行）の作文（書きのモデル文）
	6	富士サファリパークへ行く計画（読み）

L13-4、L16-5の北海道や小笠原は、書きタスクのモデル文の中に出したもので、学習者に書かせる作文の話題ではない。

7.3.3 クイズ的、ゲーム的なもの（クラスゲーム以外）

さきに述べたように、クイズ的、ゲーム的なものは読みタスクに多いが、聞きタスクにも推理クイズは多い。

推理クイズ、〇〇度チェック、その他に分けて以下に示す。

推理クイズ

L 3	4	席当てクイズ (読み)
L 4	3	席当てクイズ (読み)
L 6	2	物当てクイズ (聞き、話し)
L 7	2	犯人当てクイズ (聞き)
L 8	4	人当てクイズ (読み)
L 9	3	人相当てクイズ (聞き)

〇〇度チェック

L 8	5	あなたの日本経験度 (読み)
L 10	3	日本知識度 (読み)
L 14	3	あなたの外国生活適応度 (読み)

その他

L 5	5	クロスワードパズル (読み)
L 8	2	間違いさがし (話し)
L 7	4	YES/NO 選択式旅行アドバイス (読み)
L 15	2	漫画のふきだしに適切な言葉を入れる (読み)
L 16	4	日本の道具の使い方当てクイズ (読み)

7.3.4 ストーリー性のあるもの

最後にストーリー性のあるものを挙げる。本教材には、ストーリー性を持った物語的なものはそれほど多くない。

L 7	2	犯人当てクイズ (聞き)
L 11	2	ドジなどろぼう (聞き)
	3 a	雪女 (読み)
L 13	3	現代版わらしべ長者 (読み)

以上、『SFJ』のタスクを、いくつかの観点から簡単に紹介した。

8. 今後に向けて

これまで作成したタスクを試行した結果、いくつか問題点が浮かび上がってきた。最後にこれについて触れ、今後の課題としたい。

まず、文法項目と会話項目を統合するという「タスク」の役割の問題である。『SFJ』において、「タスク」はその課の文法項目と会話項目を発展させ、それらを統合させるものとして位置づけられている。しかし実際には、初級の前期の段階では、既習語彙や既習文法項目の制約と時間的な制約から、それはかなり難しい。

次に、学習者個人の学習スタイルの問題がある。学習者によって学習スタイルが異なり、どの学習方法が有効かも異なる。これは、学習者個人の適性やこれまで受けてきた教育の影響によるものである。例えば、ゲーム的な練習を「学習」と認めようとする学習者もこれまでにあった。理想的には個々の学習者に合った練習を行うべきであるが、それはクラス作業としては簡単ではない。

第3の問題として、評価の問題がある。タスクを行った結果、学習者がその学習項目を習得できたかどうかの評価を行うとともに、タスクそのものの内容、方法についても評価を行わなければならないが、その評価はこれまでのところ充分とは言えない。

最後に書きの問題がある。『SFJ』は、コミュニケーション・アプローチを目指した教材であるが、読み書き、特に書きには弱い。これは、コミュニケーション・アプローチの限界かもしれない。読み書きの学習にもこのシラバスを利用することがよいのかどうか、再検討をしなければならないであろう。


注

- 1) 岡崎 (1990) pp. 76-79
- 2) 文法に関しては市川 (1989)、市川他 (1990)、会話に関しては渡辺他 (1990)、語彙に関しては清水 (1991) に報告がある。
- 3) 當作 (1991) p. 69
- 4) タスク作成には著者以外に以下の者が主にかかわった。
加納千恵子 小宮修太郎 清水百合 新谷あゆり 栃木由香 フォード順子 藤牧喜久子
山本そのこ

参考文献

1. 市川保子 (1989) 「コミュニケーション・アプローチの中での文法のあり方—新教科書作成を通して—」『日本語学』第8巻第11号 明治書院
2. 市川保子・小林典子・戸村佳代 (1990) 「新教科書における文法シラバス—その作成課程と現状について—」『日本語教育論集』第5号 筑波大学留学生教育センター
3. 岡崎敏雄・岡崎眸 (1990) 『日本語教育におけるコミュニケーション・アプローチ』凡人社

4. 小林典子・フォード順子 (1991) 「基礎的聴解力の積み上げをねらった聴解教材の開発」『日本語教育論集』第6号 筑波大学留学生教育センター
5. 清水百合・山本そのこ (1992) 「新開発教材におけるタスク作成 (2) - 初級後期の小規模タスク -」本論集
6. 清水百合 (1991) 「語彙のコントロールについて」『日本語教育論集』第6号 筑波大学留学生教育センター
7. 新谷あゆり・藤牧喜久子 (1991) 「新開発教材におけるタスク作成 (3) - 初級後期のトータルタスク -」本論集
8. 當作靖彦 (1991) 「文法とコミュニケーション能力発達の関係 - 日本語のクラスでの実験をもとにして考察 -」『日本語教育』73号
9. 西村よしみ (1989) 「伝達能力と言語能力 - 初級日本語教科書と CAI -」『日本語教育論集』第4号 筑波大学留学生教育センター
10. 水田澄子・岡田安代 (1989) 「日本語教育の聴解指導」『日本語学』第8巻第1号 明治書院
11. 渡辺恵子・西村よしみ・加納千恵子 (1990) 「新教材開発の経過報告 - モデル会話、会話ノート、会話ドリルを中心に -」『日本語教育論集』第5号 筑波大学留学生教育センター
12. K. ジョンソン/K. モロウ編著 小笠原八重訳 (1984) 『コミュニカティブ・アプローチと英語教育』桐原書店
13. Nunan, D. (1988) The Learner-Centered Curriculum, Cambridge University Press.
14. Nunan, D. (1989) The Designing Tasks for the Communicative Classroom, Cambridge University Press.

1. Listen to the tape and choose the corresponding pictures. Indicate  whether the person was given permission or not.

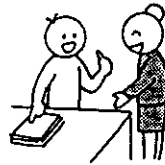
1. _____ (permission given / not given)
2. _____ (permission given / not given)
3. _____ (permission given / not given)
4. _____ (permission given / not given)
5. _____ (permission given / not given)



b 借りる
か



c 帰る
かえ



d もらう




e 質問する
しつもん

テープ・スクリプト

- 1 先生：これで終わります。
学生：すみません。質問してもいいですか。
先生：はい、どうぞ。
- 2 学生A：これ、借りてもいい？
学生B：これ？
学生A：うん。
学生B：これはだめ。
学生A：あっ、そう。じゃ、いいや。
- 3 先生：どうしましたか。
学生：頭が痛いんですけど、帰ってもいいですか。
先生：いいんですけど。大丈夫ですか。
学生：ええ。

(後略)

資料2 <応用的な聞きタスク：L13-2>

2. a.  A company would like to hire a secretary. There were three applicants who came for the interview. Listen to the tape and note down the applicant's qualifications using the chart below.

		ワープロ	外国語 <small>がいこくご</small>	趣味 <small>しゅみ</small>	健康 <small>けんこう</small>
1	加藤みどり <small>かとう みどり</small>				
2	木村よう子 <small>きむら ようこ</small>				
3	山下 弘子 <small>やました ひろこ</small>				

ワープロ *word processor* 趣味 *hobbies* 健康 *health*

- b. Below is a statement of the company staff requirements for a secretary. Read the statement and determine who will be selected.

会社の人の話
かいしやひとのはなし

いちばん大切なのは、健康です。
それから、外国によく手紙や書類を出すので、英語がよく
できる人がいいですね。使う外国語は、英語だけです。
ワープロもできたほうがいいですね。でも、会社に入っ
てからでも練習する時間はあります。
できれば、スポーツの好きな人がいいですね。スポーツの
好きな人は、仕事もがんばりますからね。

書類 *documents*
しりょう

大切な *important*
たいせつ

できれば *if possible*

がんばる *to do one's best*



テープ・スクリプト

- 1 加藤：加藤みどりです。よろしくお願ひします。
課長：えーと、加藤さんは、外国語はできますか。
加藤：ええ、英語が少し。
課長：「少し」っていうと…。
加藤：学校で勉強しただけです。
課長：学校では英語はよくできましたか。
加藤：いいえ、あまり。でも、これから勉強したいと思ひます。
課長：英語のほかは？
加藤：できません。
課長：ワープロはできますか。
加藤：はい、もう3年ぐらひやっています。
課長：じゃあ、上手ですね。
加藤：まあ。
課長：趣味は何ですか。
加藤：テニスです。
課長：いつからやっていますか。
加藤：中学の時からですから、もう10年ぐらひになります。
課長：テニスが趣味でしたら、体も強いんでしょうね。
加藤：はい。病院には、5年ぐらひ行っていません。
課長：そうですか。じゃあ、けっこうです。
加藤：どうぞよろしくお願ひします。
課長：はい、ご苦勞さまでした。

(後略)

資料3 <モデル会話場面と関連のある聞きタスク：L3-1a>

1. Listen to the tape. You will hear a series of conversations at a restaurant.

メニュー			
a. コーヒー	¥350	i. サンドイッチ (チーズ)	¥500
b. アイスコーヒー	¥350	j. (ミックス)	¥550
c. 紅茶	¥380	k. スパゲッティ (ナポリタン)	¥600
d. コーラ	¥350	l. (ミートソース)	¥650
e. ジュース (トマト)	¥400	m. ビーフカレー	¥800
f. ジュース (オレンジ)	¥450	n. チキンカレー	¥750
g. アイスcream	¥480	o. ピザ	¥700
h. ビール	¥550	p. サラダ	¥450

a. Write the letters corresponding to what the person ordered.

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____



テープ・スクリプト

1. 客 : お願いします。

ウェイトレス : はい。

客 : サンドイッチとコーヒー。

ウェイトレス : サンドイッチはミックスとチーズがございますが。

客 : うーんと、ミックス。

ウェイトレス : はい。

2. 客 : すみません。

ウェイトレス : はい。

客 : スパゲッティのナポリタン。

ウェイトレス : スパゲッティのナポリタンですね。お飲物は？

客 : いいです。

ウェイトレス : はい。スパゲッティのナポリタンおひとつ。

客 : はい。

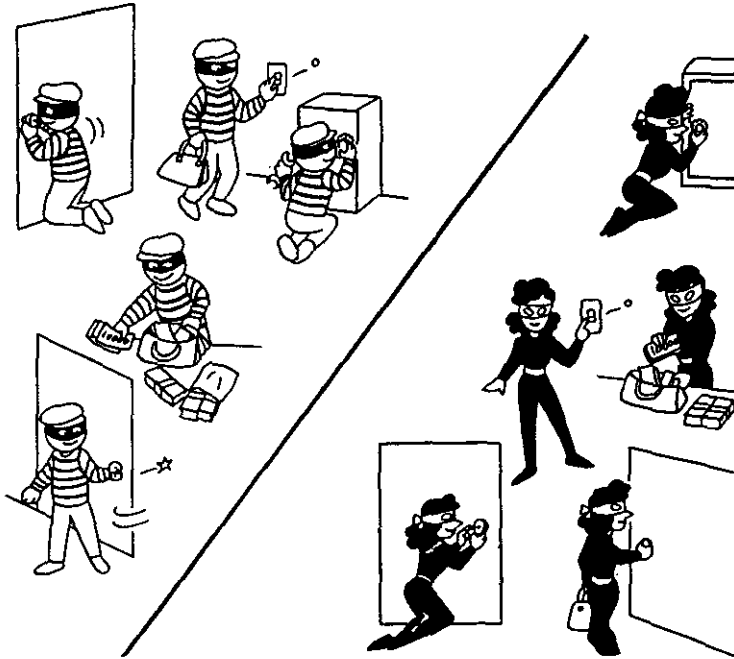
(後略)

資料4 <文法項目を応用した聞きタスク：L11-2>

2. You will hear a conversation between two thieves who broke into an office. Listen to the tape. Make with ○ what the male thief and the female thief did respectively.

action	男のどろぼう <small>おとこ</small>	女のどろぼう <small>めんな</small>
a. ドアのかぎを開けた <small>あ</small>		
b. 電気をつけた <small>でんき</small>		
c. 金庫を開けた <small>きんこ</small>		
d. かばんにお金を入れた <small>かばん い</small>		
e. かばんを持った <small>も</small>		
f. 電気を消した <small>け</small>		
g. ドアを閉めた <small>し</small>		

どろぼう thief 金庫 safe
きんこ



テープ・スクリプト

男：よし、ドアを開けるぞ。鍵はどこだ。

女：ここよ、はい。

男：ああ（受け取る）……あれ、開かないな。

女：私が開けるわ。（鍵をもらう）……開いたわよ。

（ドアを開ける）

男：おっ、電気がついた。

女：オートマチックなのよ。

男：フーン、金はどこだ。

女：金庫の中じゃない。

男：よし、おれが金庫を開ける。

女：大丈夫？

男：ああ……（カチャ）よし、開いたぞ。

（金庫の扉を開ける）

あれ、金がない。

女：えっ、お金はどこかしら。あっ、机の上にあるわ。

金庫には入れなかったんだわ。……鞆は？

男：ここにある。

女：あたしが入れるわ。300万円ぐらいある。

男：よし、おれが持つ。

女：早くして。

男：今、何時だ。

女：12時59分。早く行きましょう。

男：電気を消せ。

女：オートマチックなのよ。

男：ああ、そうか。

女：ドア、閉めて。

男：ああ（ドアを閉める）

女：急いで。シーッ！向こうから人が来るわ。

（コツコツコツ（通り過ぎる））

男：フー。

女：見つからなかったわ。鞆は？

男：あっ、忘れた。

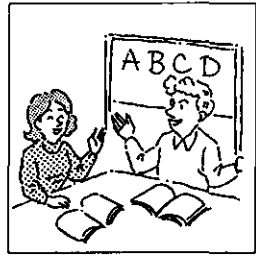
資料5 <ゲーム的要素を持つ聞きタスク：L7-2>

2. Listen to the tape. You will hear a series of conversations between the police and the suspects. A jewel was stolen from a shop. The police think it was stolen between 8:00 PM and 8:30 PM. Determine who does not have an alibi.

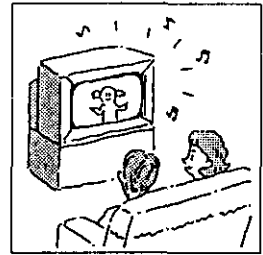
森さん
もり



[時 分]



[時 分] から
[時 分] まで

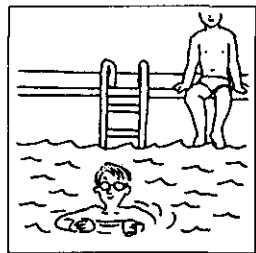


[時 分] から
[時 分] まで

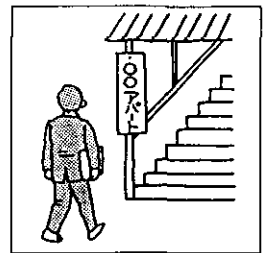
中村さん
なかむら



[時 分]



[時 分] から
[時 分] まで

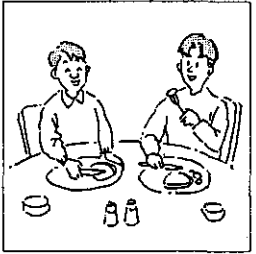


[時 分]

上野さん
うえの



[時 分]



[時 分] から
[時 分] まで



[時 分] から
[時 分] まで

テープ・スクリプト

(前略)

2. 警官：中村さんですね。

中村：はい。中村です。

警官：あのう、中村さん、きのうの夕方から夜まで、何をしていたか話してください。

まず、何時まで会社にいましたか。

中村：6時半だったかなあ。

警官：それから？

中村：プールに行きました。

警官：プール。どこのプールですか。

中村：松見ドルフィンクラブですよ。

警官：松見ドルフィンクラブですね。どこにあるんですか。

中村：松見駅の近くですよ。知りませんか。会社から15分ぐらいかな、歩いて。

警官：歩いて15分。で、どのぐらい泳いだんですか。

中村：どのぐらい……まあ、1時間ぐらいかなあ。

警官：その後は？

中村：家まで歩いて帰りましたよ。

警官：1人ですか。

中村：ええ。

警官：いつも歩くんですか。

中村：そうですね。

警官：家に着いたのは？

中村：9時半ごろかな。ゆっくり歩いたから。

警官：そうですね。わかりました。じゃこれでけっこうです。ご苦労さまでした。

(後略)

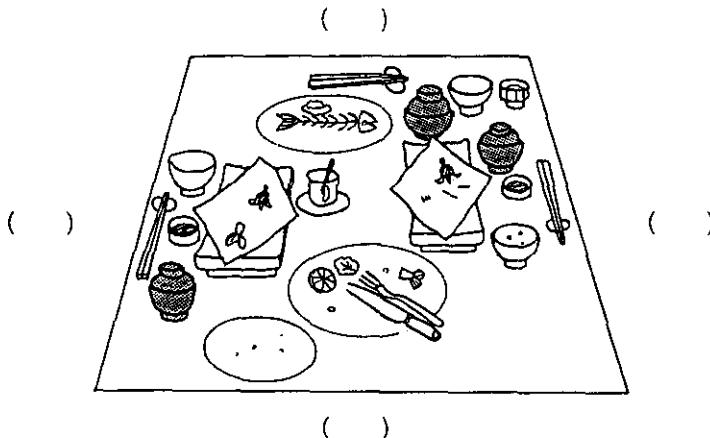
資料6 <ゲーム的要素を取り入れた読みタスク：L3-4>

☆4. The picture below shows a table after lunch. Read the report and determine who sat where.



私とAさんは天ぷら定食を注文しました。
わたし と Aさん は てんぷらせいしょく を ちゆうもん しました。
 Bさんは焼き魚定食を食べました。
Bさん は やきういそせいしょく を た べました。
 Cさんはハンバーグ定食を注文しました。
Cさん は はんぱーぐせいしょく を ちゆうもん しました。
 私はCさんにえびの天ぷらをあげました。
わたし は Cさん に えび の てんぷら を あ げました。
 それから、Aさんはコーヒーを飲みました。
 それから、Aさん は こーひー を の みました。

焼き魚 grilled fish えび prawn



c. _____ の薬です。1日に _____ 回飲みます。15才以上は、1回に _____ カプセル、7才から14才は、1回に _____ カプセルを、食事のあとに飲みます。飲んだあと、 _____ をしないでください。

15才(歳)以上 age 15 and over 食事 meal

運転をしないでください don't drive 服用後 after taking the medicine

15才未満 less than 15 (not included 15)

コンタック総合感冒薬

【適応症】

かぜの諸症状—鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み—の緩和

【6カプセル中の成分】

- 熱・痛みの緩和
(2種の解熱鎮痛剤)
アセトアミノフェン.....270mg
エテンザミド.....1,050mg
- せき中絶に作用し、無駄なカラセキを抑えます
(非習慣性鎮咳剤)
ノスカピン.....48mg
- 気管支のけいれんをしめてせきを抑え、気管支を

【用法・用量】

下記の1回量を1日3回食後なるべく30分以内に服用します。

成人(15才以上)	1回2カプセル
7才以上15才未満	1回1カプセル

【使用上の注意】

1. 服用後は自動車等の運転をしないでください。



d. _____ や歯などが痛いときや、熱があるときなどに飲みます。

15才以上は、1回に _____ 錠、1日 _____ 回まで飲んででもいいです。

バファリン[®]A (非ピリン系)

36錠

包装：12錠、24錠、48錠、96錠もあります。

■効能 (1)頭痛・歯痛・月経痛(生理痛)・抜歯後の疼痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・

ねんざ痛の鎮痛 (2)悪寒・発熱時の解熱

■特長 バファリンAには制酸緩衝剤ダイアルミネートが配合されていますから、胃液の酸度を適切に調整します。だから胃にやさしく鎮痛・解熱成分の吸収をはやめます。

■用法 15才以上、1回2錠、1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用し、服用間隔は6時間以上おいてください。

■成分 アセチルサリチル酸...0.33g/ダイアルミネート...0.15g(アルミニウムグリシネートと重質炭酸マグネシウム(1錠中)の1:2の混合物) ※小児にはフルーツの味のみやすい小児用バファリンCIIをおすすめします。

■ご注意 ★小児の手の届かないところに保管してください。
★ご使用の際には、添付の説明書をよく読んで、お使いください。

発売元 萬有製薬株式会社 〒103 東京都中央区日本橋本町2-2-3
製造元 ライオン株式会社 W 〒130 東京都墨田区本所1-3-7
アリストルマイヤーズ・ライオン株式会社

• Bristol-Myers Squibb Co., New York, N.Y., U.S.A. Reg. Trade Mark
BFAG 9008

3. Read the following story and follow the instructions given.

雪 女

雪の中を若者と老人が歩いていた。二人は親子だった。雪が強くなった。二人は山小屋を見つけて、戸を開けて中に入った。中は寒かったので、火をつけた。二人はつかれていたもので、すぐに寝た。

.....

とつぜん、戸が開いて、火が消えた。白い着物の女が入ってきた。女は老人のそばへ行って、老人の顔に冷たい息をかけた。老人の息が止まった。若者はこわくなった。女は若者の前に来た。そして、若者の顔を見て、言った。「おまえはまだ若い。だから、きょうは助けるが、このことをだれかに話したら、殺すよ。」

女はそう言って出ていった。

雪 snow 若者 young man 老人 old man 親子 parent and child

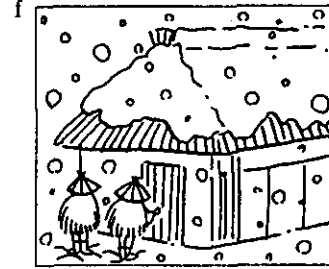
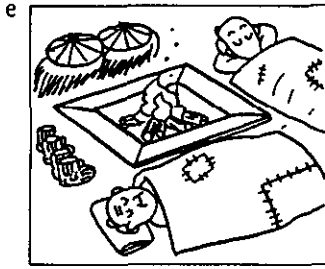
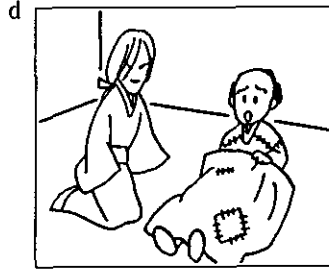
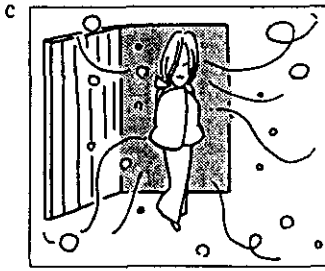
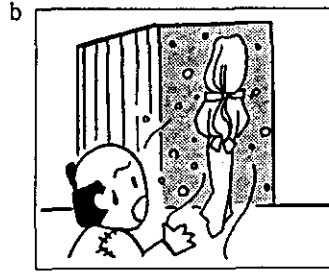
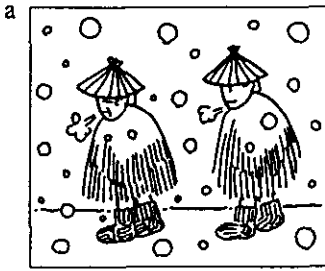
山小屋 mountain hut 戸 door 火 fire すぐに soon

とつぜん suddenly 息をかける to breathe upon 息 breath

こわい fear おまえ you 助ける to save 殺す to kill

a. Arrange the pictures according to the sequence in the story.

(a) → () → () → () → () → () → () → ()



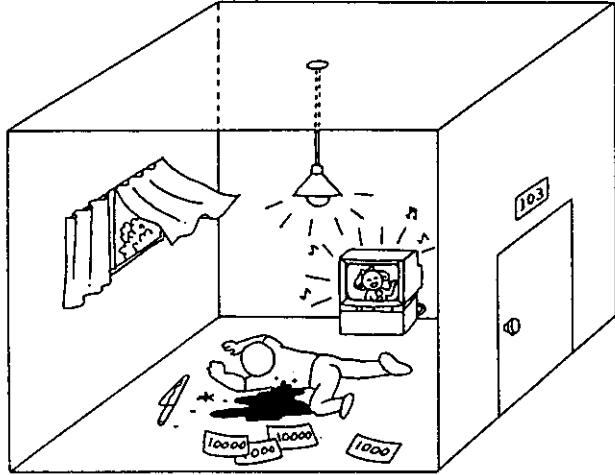
b. Think of what could happen after this.

☆c. Talk about a similar story in your country.

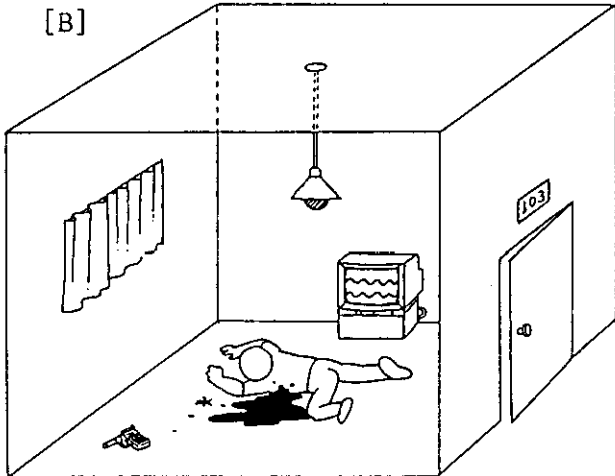


2. The following is an exercise for two people. Each one is given a picture which differs from the other in some respects. Find the differences without showing the pictures by asking questions to each other.

[A]



[B]



4. Based on the example, write a notice.

バーベキューパーティーのお知らせ

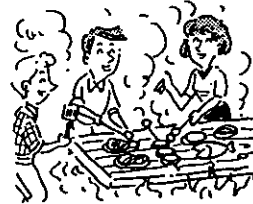
10月10日(水)午後6時から、山中公園で

バーベキューパーティーを行います。

料理の材料を持って、山中公園に来てください。

国の食べ物があつたら、いっしょに持ってきてください。

雨が降つたら中止です。



国際交流サークル
こくさいこうりゅう

お知らせ notice 行う to hold 料理 cooking 材料 ingredient
中止 cancellation

のお知らせ

_____ から、_____ で



_____ を行います。

_____ てください。

_____ たら、_____ 。

_____ たら、_____ 。

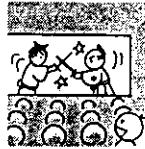
☆5. The following is a check list of things you may experience in Japan.
Check your answers and see how you score.

 あなたの日本経験度 <small>にほんけいけんど</small> 			
1 ふとんで	(2) 寝た <small>な</small>	(1) 寝ていない	<input type="checkbox"/>
2 美容院/床屋へ <small>びよういん とこや</small>	(2) 行った <small>い</small>	(1) 行っていない	<input type="checkbox"/>
3 日本のお茶を <small>にほん おちゃ</small>	(2) 飲んだ <small>の</small>	(1) 飲んでいない	<input type="checkbox"/>
4 なっとうを	(2) 食べた <small>た</small>	(1) 食べていない	<input type="checkbox"/>
5 日本のふろに	(2) 入った <small>い</small>	(1) 入っていない	<input type="checkbox"/>
6 日本語で電話を <small>にほんご でんわ</small>	(2) かけた	(1) かけていない	<input type="checkbox"/>
7 歌舞伎を <small>かぶき</small>	(2) 見た <small>み</small>	(1) 見ていない	<input type="checkbox"/>
8 パチンコを	(2) した	(1) していない	<input type="checkbox"/>
9 日本の映画を <small>にほんが えいが</small>	(2) 見た	(1) 見ていない	<input type="checkbox"/>
10 カラオケで	(2) 歌った <small>うた</small>	(1) 歌っていない	<input type="checkbox"/>
		TOTAL	<input type="checkbox"/>

なっとう *fermented soybeans* 歌舞伎 *the Kabuki*

パチンコ *pinball game* 美容院 *beauty parlor* 床屋 *barber shop*

カラオケ *singing to the accompaniment of a tape*



10点~12点	まだまだ
13点~16点	まあまあ
17点~19点	すごい!
20点	もう日本人!!



資料12 各課のモデル会話場面・文法ノート・タスク一覧表

	モデル会話場面	文法ノート	タスク
1課	紹介する ・簡単な自己紹介をする	I. ~です II. は/も<1> III. 疑問文 IV. の<1>NのN V. と<1>and	1. a. b. 自己紹介(1) <聞き> 2. 自己紹介(2) <読み> 3. 自己紹介(3) <聞き> 4. 人の説明 <読み> 5. a. b. 自己紹介(4) <書き>
2課	郵便局で ・偶然会った友人に挨拶する ・手紙を出す ・切手を買う	I. 動詞ます形 II. が<1>:を<1>:<1>:<1>:へ III. は/も<2> IV. で<1>at:<2>with V. 何、いくら VI. ~枚、~円 VII. 数詞	1. a. b. c. 路上でのあいさつ(1) <聞き> 2. 路上でのあいさつ(2) <聞き> 3. 郵便局での買物 <聞き> 4. a. 買物 <書き> b. 自分の買物 <書き> 5. 買物 <読み>
3課	レストランで ・食事を注文する ・会計で金を払う	I. <1>from II. ~です III. ~にします/になりますする/なる<1> IV. いつ V. ~ましょう/ませんか VI. ひとつ、ふたつ/ひとり、ふたり VII. は/も<3>	1. a. レストランでの注文 <聞き> b. レストランでの会計 <聞き> 2. いろいろな店の紹介 <聞き> 3. サンドイッチを買う <聞き> 4. 席当て <読み> 5. a. 日記(食事) <書き> b. 自分の食事 <書き>
4課	場所を聞く ・洗濯機のある場所を尋ねる ・電話のある場所を尋ねる	I. コソアド<1> II. 存在文 III. ~から<1>because IV. ~なら<1> V. とか、や	1. 数字当て <聞き> 2. a. b. 場所当て <聞き> 3. 席当て <読み> 4. a. 建物当て <読み> b. 建物当て <話し> 5. a. 20年前と今 <書き> b. 自分の国の変化 <話し>
5課	わからない言葉聞く ・伝言メモの意味を尋ねる	I. (r) u形 II. て形 III. た形 IV. ~てください V. ~んです<1> VI. どうして VII. で<2> VIII. 曜日	1. 指示聞き <聞き> 2. メモ取り <聞き/書き> 3. 表示の読みと意味 <話し> 4. 山下さんのスケジュール(1) <聞き> 5. クロスワード・パズル <読み> 6. すごろく <聞き>
6課	事務室で ・預かってもらった宅急便を受け取る	I. 形容詞 II. 副詞(程度) III. どう IV. ~て<1> V. ~でいい VI. <3>:で<3>	1. 物の形容 <聞き> 2. a. 物当て <聞き> b. 物当てゲーム <話し> 3. 作文(名詞、動詞、形容詞を使って) <書き> 4. a. 海へ行った報告の手紙 <読み> b. スキーへ行った報告の手紙 <書き>

	モデル会話場面	文法ノート	タスク
7 課	電話をかける 1 病院 ・病院の電話番号を尋ねる ・診察時間を尋ねて予約する	I. ~たい II. ~んです(2) III. ~が/けれど/けど IV. に(4): から from: まで until V. ごろ VI. ~時~分、~月~日	1. a. b. 電話で尋ねる <聞き> 2. 犯人当て <聞き> 3. 山下さんのスケジュール(2) <聞き> 4. 旅行アドバイス <読み> 5. テレビ番組表 <読み> 6. a. シネマガイド <読み> b. 映画の上映時間の問い合わせ <話し>
8 課	許可を求める ・欠席の許可を願い出て許される ・欠席の許可を願い出て断られる	I. ない形 II. なかった形 III. ~ないでください IV. 否定疑問の答え V. ~ている(1)状態 VI. ~ていない VII. ~てもいい VIII. か or IX. とき(1)	1. 許可願い <聞き> 2. 間違えさがし <話し> 3. マレーシアからの手紙 <読み> 4. a. 人当て <読み> b. 人当てゲーム <話し> 5. あなたの日本経験度 <読み>
9 課	病院で ・診察の手続きをする ・診察を受ける	I. A くて/Nで/NAで~(並立) II. ~と言う III. ~ので IV. A く/NAに+動詞 V. する動詞/なる動詞(2) VI. 敬語(1)特別な尊敬動詞 VII. だけ	1. 病院の受付 <聞き> 2. 薬の服用法 <読み> 3. a. b. 人当て <聞き> 4. 申し込み書類 <書き>
10 課	デパートで ・エレベータで降りる階を告げる ・店員にアドバイスしてもらってセーターを買う	I. 名詞修飾(1) II. の(2)one III. 比較 IV. ~は~が+形容詞 V. ~というの VI. A+さ VII. 敬語(2)尊敬動詞	1. a. b. c. 買物 <聞き> 2. 尊敬表現 <聞き> 3. 日本知識度 <読み> 4. 置き手紙 <書き> 5. a. 物価の比較 <読み> b. 物価の比較 <書き>
11 課	本屋で ・店員に買いたい本のある場所を尋ねる ・本を注文する	I. ~たら II. ~と思う III. +を動詞/-を動詞 する動詞/なる動詞(3) IV. ~という~ V. で(4)範囲 VI. 期間/費用+かかる VII. に(5)頻度	1. 本屋での注文 <聞き> 2. ドジな泥棒 <聞き> 3. a. b. 雪女 <読み> c. 自分の国の怪談 <話し> 4. お知らせ <書き> 5. カードゲーム <読み> 6. カードゲーム <読み>
12 課	道を聞く ・カメラ屋への行き方を尋ねる	I. ~と(4) II. ~ほうがいい III. ~してから/から(4)after IV. Vあと/V前 VI. を(2)通過点 VII. 見える/聞こえる: する/なる(4) VIII. ところ(1)place, at IX. 量/期間+は X. ~め(順序)	1. 道聞き <聞き> 2. 成田から新宿までの交通手段 <聞き> 3. a. アパート選び <聞き> b. 借りたいアパート <話し> 4. なんでもロボット <読み> 5. a. ぼくのお父さん <読み> b. 父子関係 <話し>

	モデル会話場面	文法ノート	タスク
13 課	喫茶店で ・友人の紹介で人と知り合いになる ・古いテレビをゆずってもらう	I. 好きだ／嫌いだ：上手だ／下手だ II. あげる／さしあげる もらう／いただく くれる／くださる III. 名詞修飾(1) IV. ～ている(2)進行 V. ～ばかりだ just VI. 量+も	1. 物のやりとり <聞き> 2. a. 秘書採用 <聞き> b. 秘書採用 <読み> 3. 現代版わらしべ長者 <読み> 4. 旅行社のキャッチコピー <書き> 5. 誕生日のプレゼント <話し>
14 課	問い合わせ ・忘れ物を扱っている場所を教えてください ・忘れ物を問い合わせる	I. 可能動詞 II. ～てあげる／さしあげる もらう／いただく くれる／くださる III. ～に行く／来る：に(6) IV. ～までに／まで	1. 忘れ物 <聞き> 2. 火事のニュース <聞き> 3. あなたの外国生活適応度 <読み> 4. 漢字ゲーム <話し> 5. a. ホテル紹介の手紙 <読み> b. ホテルの手紙 <書き>
15 課	本を借りる ・久しぶりに会った友人に挨拶する ・適当な参考書を探す ・本の貸出期限を確認する	I. ～てみる II. ～ておく III. ～てある V. 命令形 VI. 何か／だれか／どこか 何も／だれも／どこも VII. いつも、よく VIII. ～中	1. 仏教について聞く <聞き> 2. a. 日本のテレビ番組 <聞き> b. c. 日本のテレビ番組 <話し> 3. 旅行の安全アドバイス <読み> 4. 漫画の吹き出し <書き> 5. a. 地震の時の注意 <読み> b. 自分の国で生活するときの注意 <書き>
16 課	電話をかける2 ・タクシーを呼ぶ相談をする ・電話でタクシーを呼ぶ	I. 意向形 II. ～たり～たりする III. ～し IV. の／こと V. ～てしまう VI. 名詞修飾(2)	1. a. b. 道聞き <聞き> 2. 自分の家への行き方 <話し> 3. a. b. 見合い <聞き> c. 見合い結婚と恋愛結婚 <話し> 4. 日本の道具の使い方 <読み> 5. 夏休みの計画 <書き> 6. a. b. 富士サファリパークへ行く計画 <読み>